

## 事業者排出量削減報告書

(宛先) 京都府知事 報告者の住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都府城陽市上津屋境端32番地		平成25年8月25日 報告者の氏名(法人にあっては、名称及び代表者名) 株式会社 イーグルデリカ 代表取締役 馬場宗太郎 電話 0774-54-1163				
主たる業種	おにぎり・弁当・調理パン製造業 細分類番号 0 9 9 7					
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 第12条第1項第1号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第2号又は第3号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第4号					
計画期間	平成23年4月から平成26年3月まで					
基本方針	平成23年から平成26年の温床効果ガス排出量を4%削減					
計画を推進するための体制	エネルギー管理統括者及び管理企画推進者を新たに置き事業者全体で省エネ活動に取組む					
温室効果ガスの排出量	温室効果ガスの排出量	基準年度 (22) 年度	第1年度 (23) 年度	第2年度 (24) 年度	第3年度 (25) 年度	削減率
	事業活動に伴う排出量 (生産金額)	2,588.0 トン	2,842.3 トン	1,989.5 トン	トン	-6.7 パーセント
原単位当たりの粗 大気汚染物質排出量等	評価の対象となる排出量 ( )	2,588.0 トン	2,842.3 トン	1,989.5 トン	トン	-6.7 パーセント
	実績に対する自己評価	生産量の減少によるもの				
	原単位の指標	基準年度 (22) 年度	第1年度 (23) 年度	第2年度 (24) 年度	第3年度 (25) 年度	削減率
工場	事業活動に伴う排出量 (生産金額)	4.75	5.21	6.60		24.32 パーセント
	事業活動に伴う排出量 ( )					パーセント
具体的な取組及び 措置の内容	実績に対する自己評価	生産金額の減少及び新たな事業の拡大等もありバスに転じました。				
	直点的に実施する取組の実施状況	基準年度	第1年度 (23) 年度	第2年度 (24) 年度	第3年度 (25) 年度	備考
		0.0 パーント	4.0 パーント	4.0 パーント	パーセント	
通勤における自己 の自動車等を使用 することを控えさ せるために実施し た措置	(23) 年度	工場外壁に断熱塗装を施工した。				
	(24) 年度	工場屋根一部に断熱塗装を施工した。				
	(25) 年度					
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減した量	措置の内容	365日24時間体制の為未実施				
	上記の措置を実施した結果に対する自 己評価	同上				
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減した量	区分	第1年度 (23) 年度	第2年度 (24) 年度	第3年度 (25) 年度	備考	
	森林の保全及び整備によるもの	0.0 トン	0.0 トン	トン		
	地域産木材の利用によるもの	0.0 トン	0.0 トン	トン		
	再生可能エネルギーを利用した電力又 は熱の供給によるもの	0.0 トン	0.0 トン	トン		
	グリーン電力証券等の購入によるもの	0.0 トン	0.0 トン	トン		
	温室効果ガス排出量の削減又は吸収の 量の購入によるもの	0.0 トン	0.0 トン	トン		
	合計	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン		
地球温暖化対策に 資する社会貢献活 動	特に実施しておりません。					
特記事項	代表者交代による変更(平成25年2月1日付け)					

注 1 該当する□には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。

2 「細分類番号」とは、統計法(平成19年法律第53号)第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。

3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。

4 「削減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。

5 「直点的に実施する取組の実施状況」とは、温室効果ガスの排出量の量を削減するために直点的に実施した取組の実施率を地球温暖化対策指針で定める方法により算出して記入し、その算出の根拠となる資料を添付してください。